

学校訪問レポート

～小倉日新館中学校～

小倉日新館中学校は、高校部を持たない中学だけの私立校というユニークな学校で、灘・ラサール高校をはじめとする難関私立高や県立トップ高へ多数の生徒を送り出しています。今回は、北九州事務局教務課の世永主任がお話を伺いました。お話しくださったのは、江口孝之校長先生です。



世 永 日新館中学校の特色は何でしょうか。

江口校長 第一に、中学だけの私立校だということです。北九州には、小倉高や東筑高というレベルの高い高校があり、これらの学校への進学希望者が多いのがこの地域の特色でもあります。こうした学校に進学できる生徒を養成することに主眼を置いているのが本校です。第二が、三年間で四年分の授業時数を持っていることです。本校では、一日七時限の授業を行っています。さらに、英語・数学・国語の授業冊数を充実させ、それぞれ週六時限の授業を行います。これにより、難関高校受験にも対応できる力を養います。また、一学年三クラス、一クラス三十名の少人数クラス編成と個別指導を行い、さらに夏休みには補習を行います。「のびす」ことと「おちこばれを出さない」ことの両面をカバーできるのも、本校ならではの面倒見のよさがあるからだと思います。なんらかの理由で他校から編入した生徒が、見違えるほど元気になって卒業していく例もよくあるんですよ。

世 永 指導にはどのような体制で取り組まれていますか。

江口校長 まず、できるだけ具体的でわかりやすく、かつ実行できるものにする、という理念のもとに「学校教育目標」を策定しています。これに従い、学力の底上げや、受験指導を行います。また、本校の特徴として三泊四日の全校合宿があります。これは、一年から三年まで、学年縦割りの班決めをして行うもので、ノートのと

り方など、学習方法などを先輩から学びます。教師陣も常に高めあう体制作りを行っています。創立当時から生え抜きの先生が中心となり、OBの先生が指導者として若手教師を育成します。こうしたベテランの経験と若い力の融合により、面倒見がよく、わきあいあいとした学校になっている、といえます。

世 永 合格実績はいかがですか？

江口校長 最近の二年間については、170名の生徒が卒業しました。その中から、灘高校・東大寺学園高校・ラサール高校・開成高校・武蔵高校・久留米大附設高校・愛光高校・青雲高校・弘学館高校などの私立難関高校に延べ二六名の合格者が出ています。公立高校では、小倉高校・東筑高校・門司高校・京都高校・鞍手高校・嘉穂高校・下関西高校など各学区のトップ校を含み九十名、また、前述の難関高校や剣道などの特技を伸ばすための私立高校に二十名、日新館高校・常磐高校・高稜高校など本校の関連校に三六名、そのうち授業料免除の特待生七名、その他の私立高校の特待生などに二四名が進学しています。

世 永 部活動や学校行事などはいかがですか？

江口校長 剣道部やハンドボール部は九州大会出場など高い実績を誇っています。また、作文コンクールや放送コンクールなどでの入賞も多く、部活動を熱心に行いながらも、学習との両立ができている生徒が多いことも本校の特徴でしょう。学校行事についても、自分で作っていることが実感できるものが多いです。

世 永 最後に、受験生に一言。

江口校長 日新館は皆さんにとって「がんばれる学校」です。皆さんが一生懸命努力することを、本校の先生方や先輩は全力でサポートしてくれます。是非一度授業見学に来てください。先輩の一生懸命な姿を見ることができますよ。



世 永 本日はありがとうございました。